

シラバス

授業科目	薬品物理化学特論		
(英文名)	Advanced Pharmaceutical Physical Chemistry		
担当教員	小野行雄 他		
単位数(期別)	1(後)	対象学生	1・2MP

■授業のねらい・概要■

医薬品に関する物理化学的なアプローチを理解するために、代表的な事項を取り上げてその原理と応用を修得する。併せて最近の進歩について修得する。

■授業(学習)の到達目標■

- 1 分子構造に関するコンピューターシミュレーションについて概説できる。
- 2 シミュレーションの最近の進歩について例をあげて説明できる。
- 3 物理的画像診断法について概説できる。
- 4 RIイメージングによる診断法の原理を説明できる。
- 5 金属を利用した医薬品について概説できる。
- 6 抗癌性白金錯体の作用機序について説明できる。
- 7 製剤に用いられる高分子の物性と機能について概説できる。
- 8 高分子による薬物放出制御システムについて概説できる。

■回数ごとの授業内容■

- 1 コンピューターシミュレーションの原理(小野)
- 2 シミュレーションによる薬物相互作用の解析(小野)
- 3 物理的画像診断法(五郎丸)
- 4 RIイメージング(五郎丸)
- 5 錯体化学と医薬品(廣瀬)
- 6 結腸癌とオキサリプラチン(オキサリプラチン開発物語)(廣瀬)
- 7 製剤基材として汎用される高分子の物性と機能(富田)
- 8 高分子を利用した薬物放出制御システム(安楽)

■成績評価の方法・基準■

出席並びにレポートによる。

■使用テキスト■

プリント

■参 考 書■

なし